

2026.4.10 発行

MARUNAKA GROUP TIMES

第68号

第26回 マルナカ株式会社安全大会開催

および社内報告会



安全宣言



安全大会講演



新入社員



安全標語入選者



医大周辺ごみ拾い



ファーム周辺ごみ拾い

4月1日に令和8年度の安全大会を開催しました。
午前中はボランティア活動として地域のごみ拾いを実施し、
マルナカ本社周辺・川俣支店周辺・福島医科大学周辺の3方面に分かれて清掃を行いました。
多くの皆さんに参加いただき、地域美化に貢献することができました！

■安全大会講演

今年の講演は、福島県産業振興センター経営支援プラザの本田太郎様より、
「ハラスメントを起こさない！～みんなが働きやすい職場づくりのために～」をテーマに
ご講演いただきました。

ハラスメントの種類や影響、適切な指導との違いなど、具体例を交えた分かりやすい内容で、
改めて声掛けやコミュニケーションの大切さを学ぶ機会となりました。

■安全標語 最優秀賞

協力会社様からも多くのご応募をいただきました安全標語ですが、
今年の最優秀賞は、株式会社葺場 小出穂孝様の作品に決定しました。

【あぶないぞ！その一言が仲間を守る 実践しよう 声掛け運動】

日々のちょっとした声掛けが事故防止につながります。

今年度も無事故・無災害を目指し、全員で安全意識を高めていきましょう！

7水道第6号 国道459号(西新殿地区)送配水管布設替工事



トラブルもなく、天気にも恵まれ予定通りの
工程で無事完了することができました。
ありがとうございます。

浮津 勝

新年度を迎えるにあたって

新年度がスタートしました。当社にとっては3月が決算期であり、会社としても新たな一年の始まりです。

さて、今年度はこれまで以上に厳しい一年になると予想しています。先日の経営方針発表でもお伝えしましたが、公共・民間ともに予算の縮小が見込まれています。さらに中東情勢の影響により、原油供給の不安定化から燃料高騰も懸念されており、新年度のスタートとしては、不安要素の多い状況です。だからこそ、全社員が一丸となって前を向いて進まなければなりません。

今年の行動スローガンは、昨年に引き続き「今こそ、心を一つに」としました。このスローガンについては、幹部研修会（課長代理以上）で議論し、決定したものです。同じスローガンを掲げる意味とは何か？私は、この言葉をまだ「やり切れていない」と感じています。もしかすると、皆さんの中にも同じように感じている方がいるのではないのでしょうか。

スローガンは掲げるだけでは意味がありません。意識し、行動に移してこそ価値があります。会社を本当に強くするためには、一人ひとりが考え、行動し、責任を持つこと。そして、それぞれが同じ方向を向くことが必要です。

今年度も、朝礼にてこのスローガンを唱和していきます。繰り返し口に出しながら、社員全員が一枚岩となる組織を作っていきます。そこで私は、今年度はこれまでとは少し違う一年にします。それは、「社長が決める会社」から「みんなで創る会社」への転換です。

「みんなで創る」とは、単に意見を出し合うことではありません。みんなで考え、仕組みをつくり、会社を動かしていくということです。これまで会社の方針や目標は、私が中心となって決めてきました。もちろん、それが悪いとは思っていません。しかし、それでは“強い組織”にはならない。私はそう感じています。

私がすべてを決めるのではなく、皆さん一人ひとりが考え、会社を創っていく側になってもらいます。会社は社長のものではありません。皆さんが主役です。

そのために欠かせないのが、「コミュニケーション」です。仲間同士、そして上司と部下の意思疎通が必要不可欠です。さらに、新入社員も加わります。新しい仲間を迎える今だからこそ、これまで以上に声を掛け合い、しっかりとコミュニケーションを取っていきましょう。

世の中は物凄いスピードで変化しています。だからこそ、会社としての一体感がこれまで以上に重要になります。

「今こそ、心を一つに」

今年の私のテーマは「覚悟」です。覚悟を決めて本気で実行する一年にしていきます。

令和八年四月一日

代表取締役 遊佐 憲雄

